

一橋大学大学院
国際企業戦略研究科

金融・経営専攻
金融戦略・経営財務コース(MBA)

平成27年度 入試説明会

実施日：平成26年9月2日(火) 於：学術総合センター2階 一橋講堂

国立大学法人一橋大学大学院国際企業戦略研究科(ICS)



Hitotsubashi University
Graduate School of
International Corporate Strategy

■プログラム

開 場 18:00

18:00～ 受付開始

開 会 18:30

18:30～ 入試説明会

1. 金融戦略・経営財務コースの概略
2. 入試情報、学生情報
3. 講義内容、教員紹介
4. 在校生の声
5. 卒業生の声
6. 質疑応答

懇談会 20:10(閉会后)

20:10～20:40 教員、在校生、卒業生との懇談会

閉会后に中会議場(一橋講堂と同じ2階)にて懇談会を行います。

参加者の皆様が、本校教員、在校生、卒業生と直接対話をしていただけるお時間となります。

プログラム中の質疑応答の時間内で質問できなかったことや、個別にご質問、ご相談されたいことなどがありましたら、是非、このお時間をご利用いただければと思います。

金融戦略・経営財務コースとは？

実務におけるさまざまな問題を潜り抜けるタフネスと、問題解決能力をあわせもった、“知的体育会系”の人材を育成するプログラム、それが金融戦略・経営財務コースです。

金融戦略・経営財務コースは、 「経営財務系」と「計量ファイナンス系」が提供されています。

金融戦略・経営財務コースでは、設立以来高度な専門的職業人の育成のためのプログラムを展開し、特に計量的なマーケット・ファイナンス分析の研究・教育において高い評価を受けてきました。

一方、実務においては、製造業・サービス業を中心として、M&A、バイアウト、企業再生、企業価値評価、コーポレートファイナンスの本質的理解に関して、社会的要請が急速に高まっています。そこで2006年度から「計量ファイナンス系」に加えて、「経営財務系」という新たなグループがコース内に設けられています。具体的な提供科目は、バイアウト、企業再生実践論、M&Aと企業評価、M&A実践論、会計・バリュエーション、アカウンティング、財務・会計分析、コーポレート・ファイナンス、金融機関経営論、企業進化論、経営戦略論などです。

このコースによって、企業財務を中心とした履修計画によって修了することが可能となり、事業会社に勤務されている方々にとっても、より親しみやすい有用なプログラムとなっています。

■平成26年度専門職課程(MBA)学年暦

4月	4月1日(火)	入学式及びガイダンス	
	4月2日(水)	春学期授業開始	
	4月2日(水)～ 4月15日(火)	春学期履修届・指導教員決定	
5月、6月	5月7日(水)～ 13日(火)【1単 位科目のみ】 6月2日(月)～ 6月27日(金)	春学期履修届取下げ期間	
6月	6月24日(火)	前半1単位科目春学期成績表配布	
5月、7月	5月17日(土)～18日 (日)、31日(土)、6月 7日(土)【前半1単位 科目のみ】 7月18日(金)、 7月23日(水)～ 7月 25日(金)	補講	
	5月21日(水)～23 日(金)、6月2日 (月)、10日(火) 【前半1単位科目の み】 7月28日(月)～8月 1日(金)	春学期末試験	
	7月31日(木)	学位論文提出締切※9月修了予定者	
8月～9月	8月2日(土)～ 9月28日(日)	夏期休業	
	夏期休業中	集中講義	
9月	9月8日(月)	修了者発表※9月修了予定者	
	9月24日(水)	創立記念日	
	9月24日(水)	後半1単位科目・2単位科目春学期成績表配布	
9月	9月26日(金)	学位授与式	
	9月29日(月)	秋学期授業開始	
	9月19日(月)～ 10月10日(金)	秋学期履修届	
11月、12月	11月4日(火)～10 日(月)【前半1単位 科目のみ】 12月1日(月)～18 日(木)	秋学期履修取下げ期間	
12月下旬～1月上旬	12月26日(金) ～1月4日(日)	冬期休業	
12月	12/15(月)	前半1単位科目春学期成績表配布	
12月、1月	11月15日(土)～16 日(日)、12月6日 (土)【前半1単位科目 のみ】 1月22日(木)、 1月28日(水)～ 1月 30日(金)	補講	
	1月30日(金)	学位論文提出締切日	
11月、2月	11月18日(火)～21 日(金)、12月8日 (月)【前半1単位科目 のみ】 2月2日(月)～6日 (金)	秋学期末試験・学年末試験	
2月～3月	2月7日(土)～ 3月31日(火)	春期休業	
	春期休業中	集中講義	
3月	3月16日(月)	修了者発表	
	3月23日(月)	学位授与式(3月下旬)	
	3月25日(水)	後半1単位科目、2単位科目秋学期成績表配布	

■平成26年度専門職課程(MBA)開講科目

科目群	講義科目名	単位数	開講学期	担当教員名	備考
基礎科目	ファイナンス理論の基礎	2	春	本多 俊毅	
	金融データ分析の基礎	2	春	横内 大介	
	コーポレート・ファイナンスの基礎	2	秋	伊藤 彰敏	
	会計・バリュエーションの基礎	2	春	野間 幹晴	
	ファイナンス理論	2	秋	大橋 和彦	
	コンピューショナル・ファイナンス	2	春	中村 信弘	
	金融数理の基礎	2	秋	中川 秀敏	
専門科目	統計科学の数理	2	秋	大上 慎吾	
	線形モデル入門	1	秋	横内 大介	
	データモデリング入門	1	秋	横内 大介	
	金融データの時系列分析	1	秋	沖本 竜義	集中講義 ※2月実施予定
	計量経済学I	1	春	林 文夫	
	計量経済学II	1	秋	林 文夫	
	ポートフォリオ投資論	2	秋	本多 俊毅	
	派生証券理論	2	秋	藤田 岳彦	
	ファイナンスにおける諸問題	1	春	本多 俊毅	
	金融経済学(情報とインセンティブ)	1	春	大橋 和彦	
	ファイナンシャル・リスク・マネジメント	2	春	中川 秀敏	
	コーポレート・ファイナンス	2	春	伊藤 彰敏	
	線形代数入門	1	春	青木 義充	
	微積分学入門	1	春	青木 義充	
	金融数理	2	春	藤田 岳彦	
	アカウンティング	2	秋	野間 幹晴	
	投資戦略論	2	秋	中村 信弘	
	資産価格の実証分析	2	春	祝迫 得夫	
	金融機関経営論	2	春	土岐 大介	
	企業価値向上論I	1	秋	佐山 展生	
	企業価値向上論II	1	秋	佐山 展生	
	経営戦略論	2	秋	楠木 健	
	M&Aストラクチャ論	2	春	服部 暢達	
	M&A実践論I	1	春	佐山 展生	
	M&A実践論II	1	春	佐山 展生	
	企業税務の実務と実証研究	2	春	明石 英司 大沼 宏	集中講義 ※9月実施
	コーポレート・ファイナンス(ケース分析)	1	春	伊藤 彰敏	
	エナジー・ファイナンス	1	秋	大橋 和彦	
	金融リスク計量における諸問題	1	秋	中川 秀敏	
金融リスク計量入門	1	春	中川 秀敏	集中講義 ※8月実施予定	
アントレプレナー・ファイナンス	2	秋	山本		
キーストーン・パートナーズ 企業再生の実践	2	秋	伊藤彰敏・野間幹晴		
ニッセイアセットマネジメント資産運用論	2	秋	伊藤彰敏・沖本竜義		
博士後期 課程科目	資産価格理論	1	春	大橋 和彦	
	金融市場の計量ファイナンス	1	春	中村 信弘	
	金融計量経済学I	2	秋	林 文夫	

※修了要件:

- ①合計34単位以上を取得(基礎科目から8単位以上、講義科目から18単位以上、ゼミ8単位以上)
- ②専門職学位論文に合格

※開講科目は毎年見直されており、こちらに掲載されている科目が来年度も開講されるとは限りません。
また、こちらにはない科目が新設される可能性もあります。

■平成26年度金融戦略・経営財務コース時間割

春学期

		月	火	水	木	金
1時限 18:20 ～ 19:50	基礎科目		コンピュータショナル・ファイナンス 〔中村〕 【PC Room】		金融データ分析の基礎 〔横内〕 【PC Room】	ファイナンス理論の基礎 〔本多〕 【第2講義室】
	専門科目	演習1年生	★M&A実践論I 〔佐山〕 【第2講義室】 ★M&A実践論II 〔佐山〕 【第2講義室】 ＜博士＞ ☆資産価格理論 〔大橋〕 【8Bセミナー室】 ★金融経済学(情報とインセンティブ) 〔大橋〕 【第3講義室】	M&Aストラクチャ論 〔服部〕 【第2講義室】 金融数理〔藤田〕 【第3講義室】	金融機関経営論 〔土岐〕 【第2講義室】 ☆計量経済学〔林〕 【第3講義室】 ★計量経済学II〔林〕 【第3講義室】	★コーポレート・ファイナンス(ケース分析) 〔伊藤〕 【第3講義室】
2時限 20:00 ～ 21:30	基礎科目			会計・バリエーションの基礎〔野間〕 【第1講義室】		
	専門科目	演習2年生 副演習1年生 〔佐山〕 【第3講義室】	ファイナンシャル・リスク・マネジメント 〔中川〕 【第3講義室】	☆ファイナンスにおける諸問題 〔本多〕 【第2講義室】 ＜博士＞ 金融市場の計量ファイナンス 〔中村〕 【8Bセミナー室】	コーポレート・ファイナンス 〔伊藤〕 【第2講義室】 ☆線形代数入門 〔青木〕 【PC Room】 ★微積分学入門 〔青木〕 【PC Room】	資産価格の実証分析 〔祝迫〕 【第3講義室】

秋学期

		月	火	水	木	金	土
1時限 18:20 ～ 19:50	基礎科目		金融数理の基礎 〔中川〕 【第3講義室】		ファイナンス理論 〔大橋〕 【第2講義室】		
	専門科目	演習1年生	☆企業価値向上論I 〔佐山〕 【第2講義室】 ★企業価値向上論II 〔佐山〕 【第2講義室】	キーストーンパートナーズ 企業再生の実践 〔伊藤・野間〕 【第2講義室】 ☆金融リスク計量における諸問題 〔中川〕 【第3講義室】	＜博士＞ 金融計量経済学I 〔林〕 【第3講義室】	ポートフォリオ投資論 〔本多〕 【第1講義室】 経営戦略論 〔楠木〕 【第2講義室】	アカウントティング 〔野間〕 【第1講義室】 ※日時未定
2時限 20:00 ～ 21:30	基礎科目			コーポレート・ファイナンスの基礎 〔伊藤〕 【第2講義室】			
	専門科目	演習2年生	統計科学の数理 〔大上〕 【第1講義室】 アントレプレナー・ファイナンス 〔山本〕 【第2講義室】	☆エナジー・ファイナンス 〔大橋〕 【第1講義室】	☆線形モデル入門 〔横内〕 【PC Room】 ★データモデリング入門 〔横内〕 【PC Room】 投資戦略論 〔中村〕 【第3講義室】	派生証券理論 〔藤田〕 【第3講義室】 ニッセイアセットマネジメント資産運用論 〔伊藤・沖本〕 【第2講義室】	

☆前半1単位科目 ★後半1単位科目

■専門職学位課程(MBA)入学試験概要

◆選考概要

「専門職学位課程」は、年2回の募集(秋期と冬期)を行います。募集人員は合わせて41名とします。

秋期募集	
■出願期間	平成26年9月29日(月)～10月3日(金) ※10月3日消印有効
■第1次試験(書類審査)可否結果	平成26年10月27日(月)以降通知
■第2次試験(口述試験)	平成26年10月31日(金)～11月6日(木) ※2・3日を除く
■合格発表	平成26年11月20日(木)
冬期募集	
■出願期間	平成27年1月5日(月)～1月9日(金) ※1月9日消印有効
■第1次試験(書類審査)可否結果	平成27年1月23日(金)以降通知
■第2次試験(口述試験)	平成27年2月6日(金), 2月7日(土)
■合格発表	平成27年2月19日(木)

※詳細は本コースホームページ又は募集要項をご覧ください。

◆募集の流れ

本専攻(4月入学)の授業は、一橋大学大学院国際企業戦略研究科において、平日夜間に行っています。専門職学位課程の授業は、教育訓練給付金の支給対象となる指定講座です。

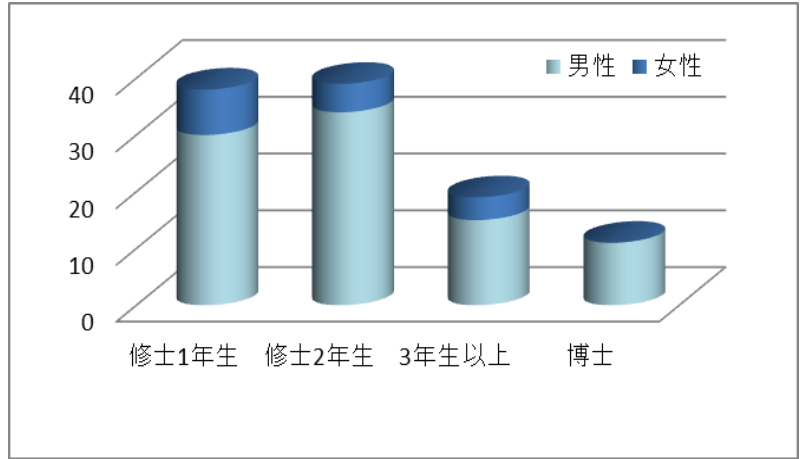
定員	専門職学位課程: 41名
入学資格	入学時点において、企業・官公庁等における原則2年以上の実務経験を有する者で、※諸条件のいずれかに該当する者。 ※詳細につきましては、募集要項にてご確認ください。
修了要件	2年以上在学し、講義科目26単位以上、演習8単位以上、合計34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本研究科が行う専門職学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。
授与学位	専門職学位課程修了者には、「経営修士(専門職)」「金融戦略・経営財務MBA」の学位が授与されます。

◆応募状況(過去3年間)

	2012		2013		2014	
	秋期	冬期	秋期	冬期	秋期	冬期
受験者数	52	21	45	13	38	16
合格者数	32	12	33	8	26	15
倍率	1.63	1.75	1.36	1.63	1.46	1.07

① 2014年度在校者数 ※2014年5月1日現在

	男性	女性
修士1年生	30	8
2年生	34	5
3年生以上	15	4
計	79	17

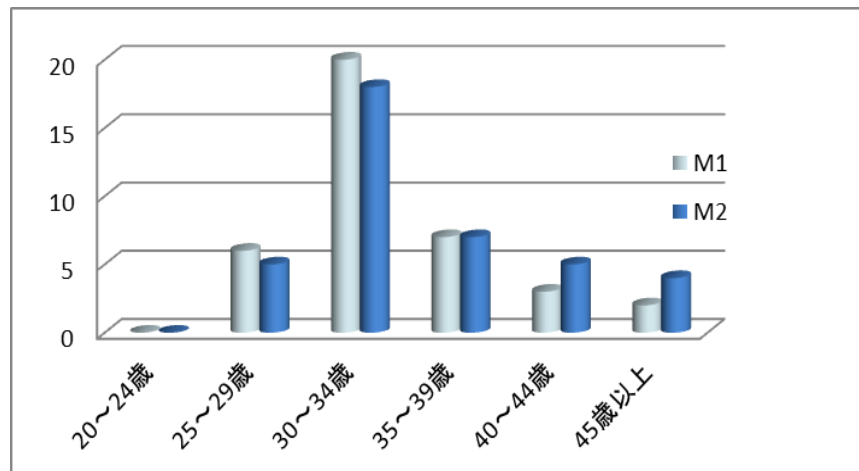


ご参考までに……

	男性	女性
博士1年生	5	0
2年生	3	0
3年生	1	0
4年生以上	2	0
計	11	0

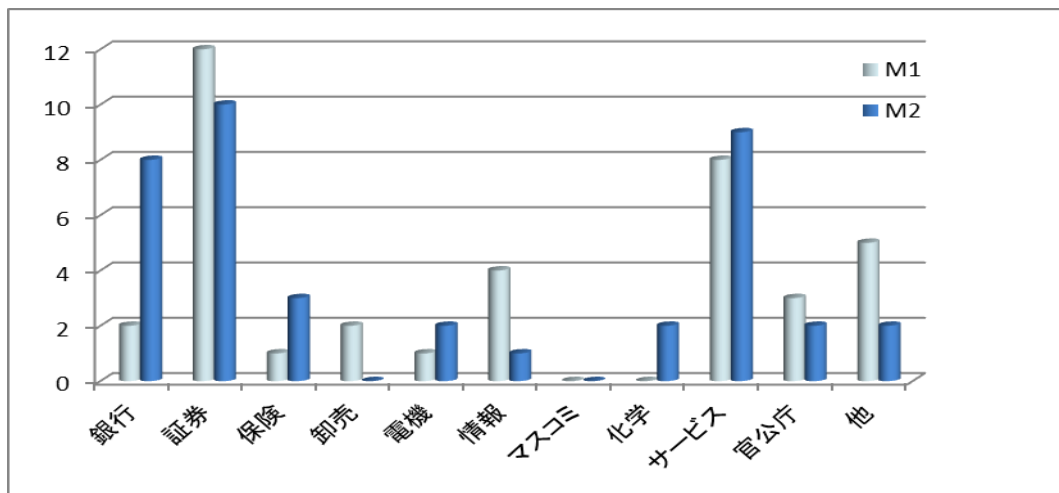
② 修士1年生(M1)、2年生(M2)の年齢 ※2014年5月1日現在

	M1	M2
20～24歳	0	0
25～29歳	6	5
30～34歳	20	18
35～39歳	7	7
40～44歳	3	5
45歳以上	2	4



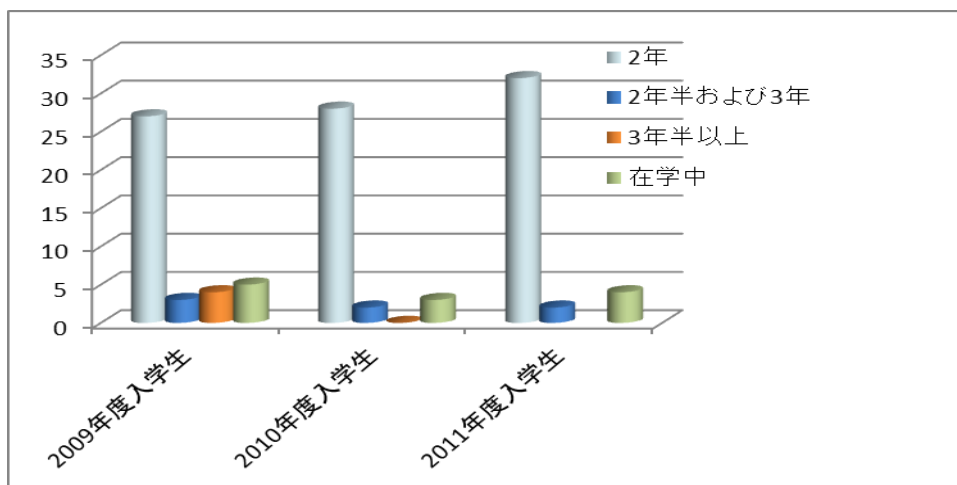
③ 修士1年生(M1)、2年生(M2)の業種 ※2014年4月1日現在

	銀行	証券	保険	卸売	電機	情報	マスコミ	化学	サービス	官公庁	他
M1	2	12	1	2	1	4	0	0	8	3	5
M2	8	10	3	0	2	1	0	2	9	2	2



④ 修了するまでにかかった年数(過去3年間)

	2年	2年半および3年	3年半以上	在学中
2009年度入学生	27	3	4	5
2010年度入学生	28	2	0	3
2011年度入学生	32	2		4



■平成25年度3月修了(26年3月)

- ◇ 国内CDSプレミアムの形成要因の分析
- ◇ エネルギー価格と穀物価格間の相互関係の分析ー原油とウモロコシ価格を対象とした実証分析ー
- ◇ J-REITリターンのイベント・スタディ:利害関係者からの新規物件取得に対するJ-REITリターンの反応
- ◇ 株式市場におけるMomentum Crashとそのヘッジ戦略についての考察
- ◇ 監査報酬の決定要因に関する考察
- ◇ 日本の死亡率データに基づくライフセトルメントの公正価値算定
- ◇ インプライド・高次モーメントと株式リターン
- ◇ ヴァイン・コピュラを用いたCAPMの非正規・非線形への拡張:レギュラー／カノニカル・ヴァイン・マーケット・セクター・モデル 日本株式市場における実証比較分析
- ◇ MTシステムを使用した製造業の企業評価の検証と考察、及び、株式売買判断への応用
- ◇ Bermudan SwaptionのCVA計算および誤方向リスクに関する考察
- ◇ 保険契約者の解約行動・保険負債概念の違いと生命保険会社の運用ーシミュレーションによるALM分析ー
- ◇ 通貨ペアを考慮した為替運用戦略の検証
- ◇ 外国籍企業の新興国での撤退要因分析 COX比例ハザードモデルによる検証
- ◇ 企業買収時における資金調達手段の決定要因及びその市場評価の検証
- ◇ PIPEsによる投資先企業に対するバリューアップの検証
- ◇ 2009年税制大綱(外国子会社配当益金不算入制度)が日本企業に及ぼす影響
- ◇ 経営者予想バイアスに関する考察～経営者交代による影響～
- ◇ ペア・トレーディングの収益構造ー伝統的なリスク・ファクター、特に市場リスクと、本当に無関係かー
- ◇ 景気変動とIPOとの関係について
- ◇ 登録特許数及び被引用特許数が将来利益に与える影響
- ◇ デフォルト率の状態変化とデフォルト判別モデルの有効性について
- ◇ 日本の株式市場におけるアナリスト・ディスパージョンとリターンの関係性
- ◇ GARCH-Mモデルを用いたリスク・リターン関係の分析～Exogenous VariableとしてのVIXの有効性～
- ◇ 社債スプレッドの決定要因
- ◇ 順序ロジットモデルに基づく外部格付推定における財務諸表注記情報の有用性について
- ◇ レジーム・シフト・モデルを用いた債券超過リターンの説明および予測可能性

- ◇ 企業の広告宣伝費支出と株主構成の広がり、株価への効果に関する考察
 - ◇ 広告投資と不確実性に関する実証分析
 - ◇ 巨大災害リスクとCATボンドリターンの時系列分析
ー保険市場と資本市場におけるCATボンドの可能性ー
 - ◇ Observation on Performance of Investment Strategy by Extreme Downside Risk(EDR) in Japanese Market
 - ◇ Particle Learningを用いたCDSスプレッド分析
～Hazard Rate・SV Model～
 - ◇ CSRの決定要因と企業価値
 - ◇ 国内M&Aにおける中長期パフォーマンス改善効果の実証研究
 - ◇ ファクターリターンの性質の検証と依存構造の実証分析
 - ◇ クロスボーダーM&Aにおける買収企業のパフォーマンスー日本企業の実証研究ー
 - ◇ 事前提携関係が被買収企業の財務パフォーマンスに及ぼす影響
-

■ 平成25年度9月修了(29年9月)

- ◇ Nelson-Siegelモデルを用いた日本国債イールドカーブの時系列分析
- ◇ モデルフリーインプライドモーメントを用いた日経225オプションの実証分析

■平成24年度3月修了(25年3月)

- ◇ 日経225先物市場における価格発見能力の市場間優劣に関する考察—システム高速化前後に焦点を当てた実証分析—
- ◇ 日本企業によるクロスボーダーM&A—株価パフォーマンスの要因分析—
- ◇ 担保契約に応じたデリバティブ取引のCCAとCVAのリスク分析
- ◇ CVaRを用いた与信ポートフォリオ最適化
- ◇ 外国為替市場における超過リターンの考察
- ◇ 研究開発費の株式市場価値と将来収益性との関係について—東証一部上場企業が買収者となった技術志向M&Aケースでの実証—
- ◇ 金融商品化したコモディティと各アセットクラスとの相関の変化について
- ◇ 特定期間選好仮説による金利期間構造モデルの推定と分析—国債市場の需給と金利期間構造との関係—
- ◇ バイアウトファンドのPIPEsにおけるEXIT戦略要因分析
- ◇ 日本の株式流動性と景気変動
- ◇ 日本株投信のアクティブリターンの特性と継続性の分析
- ◇ マクロ経済変数による条件付き資産価格評価モデルと株式市場のクロスセッションリターン
- ◇ 非線形カルマンフィルタを用いたCDSのハザードレート推定
- ◇ 事業多角化・グローバル化と企業価値
- ◇ 新規上場企業における上場直後の経営者予想利益の精度に影響を及ぼす要因
- ◇ 日本の株式市場におけるリスク・リターンの実証分析
- ◇ 本邦大手上場企業の同業種同士のM&Aによる合併に関する考察
- ◇ 取締役会及び監査役会構成の決定要因と企業業績
- ◇ Smooth Transition モデルによる資産間の相関構造分析
- ◇ のれんの減損と企業の利益調整行動に関する考察
- ◇ 経営者持株と配当政策についての—考察—新興市場におけるエンタレンチメントを巡る実証分析—
- ◇ 日本企業の投資行動に対し財務余力が与えた影響に関する実証分析
- ◇ ロバスト最適化を用いたSVMによる格付判別モデルの構築
- ◇ Nikkei225の構成銘柄入れ替えに関する考察
- ◇ MBOとIPOの比較にみる株式上場と非公開化
- ◇ 共和分の手法と複数の流動性指標を用いた社債スプレッドの分析
- ◇ J-REITとTOPIXのリターンの相関及び予測可能性

- ◇ 実体的裁量行動と利益ベンチマーク達成を巡る実証分析ー多角化・グローバル化の観点からー
 - ◇ 経営者持株比率と企業パフォーマンスの関係ー東証マザーズIPO企業を対象に、founder-CEOの存在に着目した実証分析ー
 - ◇ 新聞記事のテキストマイニングによる株式市場の分析及び予測
 - ◇ 住宅ローンのプリペイメント・モデルの高度化ー住宅金融支援機構の償還履歴データに見る本邦の制度的要因等に関するプリペイメント・インセンティブの表現ー
 - ◇ 財務レバレッジが投資に与える影響ついて（多角化企業と専業企業との比較による分析）
 - ◇ 為替市場におけるフォワード・プレミアム・パズルの考察
 - ◇ グループ経営における完全子会社化のアナウンスメントに関する実証分析～投資家視点で観た完全子会社化の意義～
 - ◇ 邦銀の自己資本比率等の日本企業への影響について
 - ◇ デフォルト事象を考慮した期限前償還率のモデル化と住宅金融支援機構ローンプールデータの分析
 - ◇ 研究開発および特許出願の分野集中度が企業価値に与える影響ー日本の電気機器製造業における実証分析ー
-

■平成24年度9月修了(24年9月)

- ◇ モデルフリーインプライドボラティリティを活用した原資産のリターン予測の可能性

■平成23年度3月修了(24年3月)

- ◇ クロス・セクションのリターンに対するファクター・モデルの説明力の比較-過去半世紀の米国株式データを用いた実証分析-
- ◇ Post Earnings Announcement Drift の検出とその発生原因の考察
- ◇ 日本製造業の資金構成と戦略的負債調達に関する実証分析
- ◇ 日本企業の信用格付の格下げ予測に関する研究
- ◇ 金融危機における多角化の企業価値
- ◇ ダウンサイジングと長期企業パフォーマンスに関する考察
- ◇ 金利期間構造情報を用いた為替超過リターン予測について
- ◇ 日本株式市場における固有ボラティリティ効果
- ◇ 為替デリバティブにおける誤方向リスクおよび順方向リスクの分析
- ◇ CDSプレミアム水準及び変動要因のパネルデータ分析と応用
- ◇ 研究開発投資と実体的利益調整
- ◇ 現金保有の決定要因および現金保有と経營業績の実証研究
- ◇ 破綻企業が二次破綻を回避するための要件について
- ◇ グローバル化・多角化と企業価値との関係-日本の国内専門企業をベンチマークとした企業価値の比較・検証-
- ◇ 裏付け不動産の収益力と投資利回りに基づくCMBSの信用リスク評価
- ◇ 一般的な効用関数を用いた消費資産価格モデルの検証
- ◇ 追加融資と金利変動の影響を考慮した与信ポートフォリオの信用リスク評価に関する研究
- ◇ ダイナミックモデルによる船舶傭船料の実証分析
- ◇ 日本におけるAnnuity Puzzleの実証分析
- ◇ 不完全情報モデルによる信用リスクプレミアムの推定-社債スプレッド算定を利用した投資戦略策定の適応-
- ◇ パーティクルフィルタによる4ファクター確率ボラティリティ金利モデルの推定と債券アービトラージ戦略への応用
- ◇ 通貨ベース間の依存構造分析
- ◇ CVaR最小化に基づくSVMによる格付判別モデルの提案と評価
- ◇ グローバル化企業のパフォーマンス分析
- ◇ 内部資本市場の効率性とその要因
- ◇ 生存時間分析による生命保険契約の解約モデルの推定
- ◇ 日本市場における株式ペア取引の実証研究
- ◇ 本邦2000年代のM&Aブームに関する実証研究
- ◇ インプライドな取引コストを流動性リスク要因とする社債スプレッドの実証分析

■平成23年度9月修了(23年9月)

- ◇ 取引発生強度の推定
- ◇ 縮小推定量による株式ポートフォリオ運用の分析
- ◇ レジーム・スイッチング・モデルによるデフォルト率転換ファクターの分析

■平成26年度授業科目における科目群の位置づけ

統計学、データ分析

金融データ分析の基礎
計量経済学Ⅰ,Ⅱ
線形モデル入門
データモデリング入門
統計科学の数理

リスク管理、フィナンシャル・ エンジニアリング

コンピューテーショナル・ファイナンス
金融数理の基礎 金融数理
派生証券理論
フィナンシャル・リスク・マネジメント
金融リスク計量における諸問題
金融リスク計量入門

金融経済学、投資

ファイナンス理論の基礎
ファイナンス理論
ポートフォリオ投資論
金融経済学(情報とインセンティブ)
ファイナンスにおける諸問題
資産価格の実証分析

コーポレート・ファイナンス、 会計

会計・バリュエーションの基礎
アカウンティング
コーポレートファイナンスの基礎
コーポレート・ファイナンス
国際財務
アントレプレナー・ファイナンス

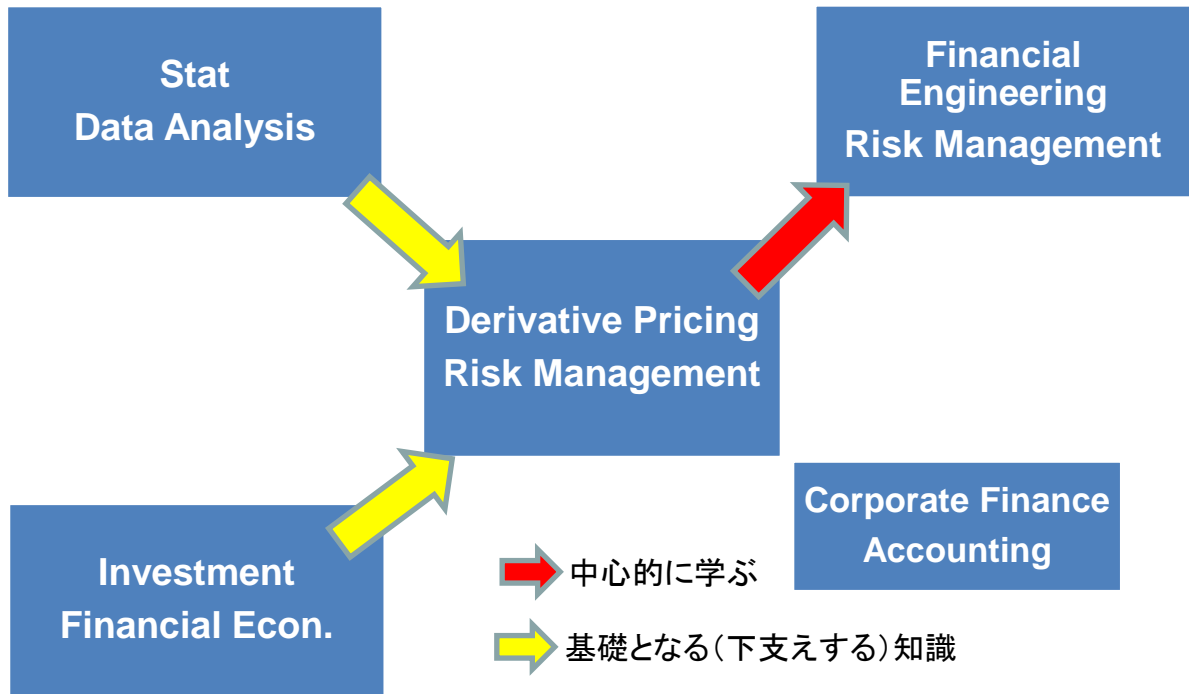
応用的な専門科目

M&A実践論Ⅰ,Ⅱ M&Aストラクチャ論
企業価値向上論Ⅰ,Ⅱ
経営戦略論
投資戦略論
エナジー・ファイナンス
企業税務の実務と実証分析

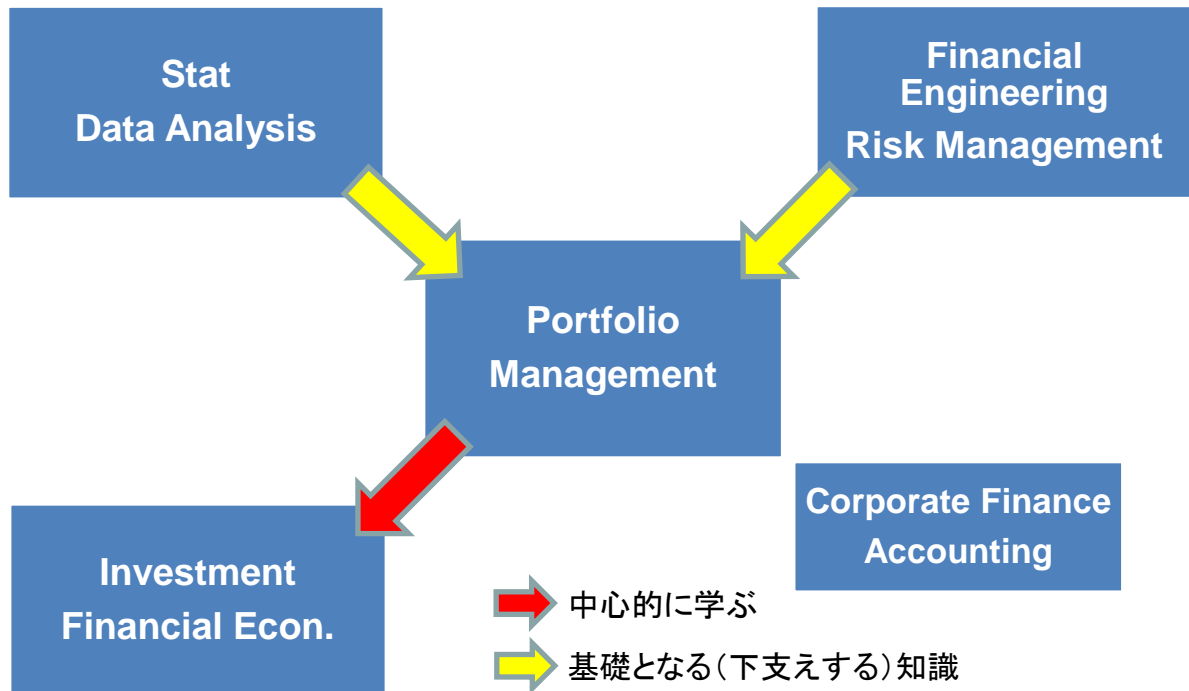
計量的・統計的手法を学ぶための準備科目

線形代数入門、微積分学入門、線形モデル入門

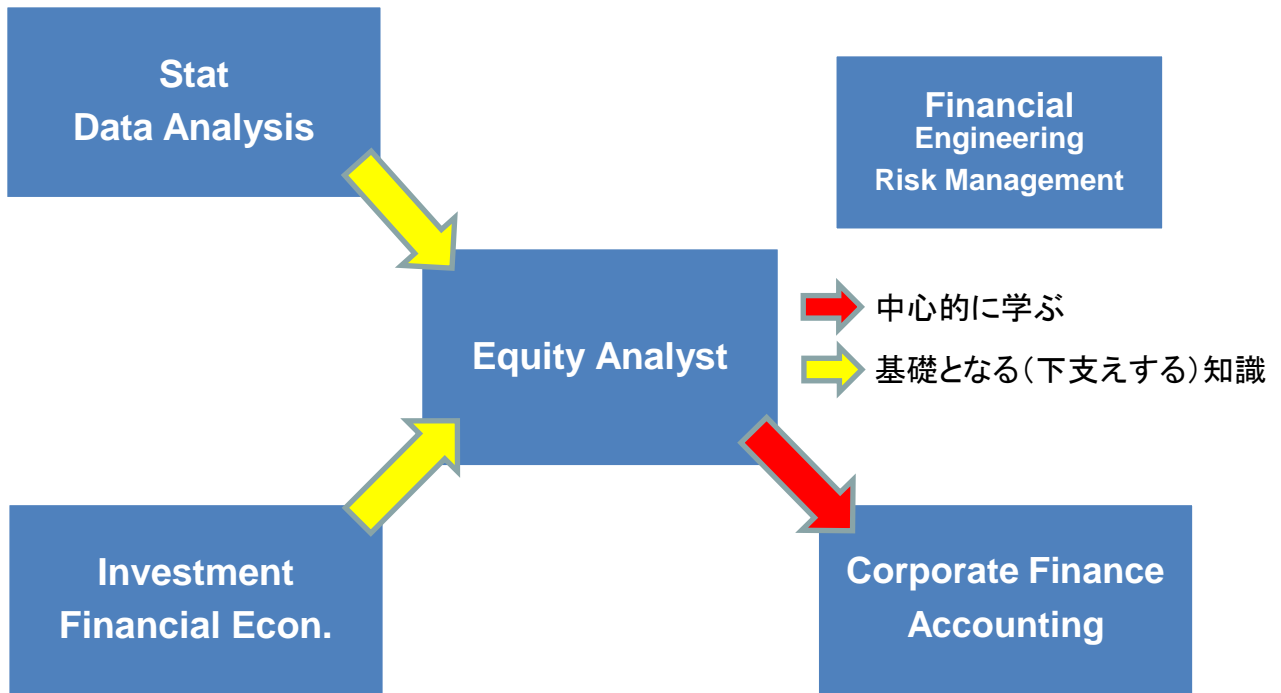
デリバティブ・プライシングやリスク管理などを中心に勉強したい場合



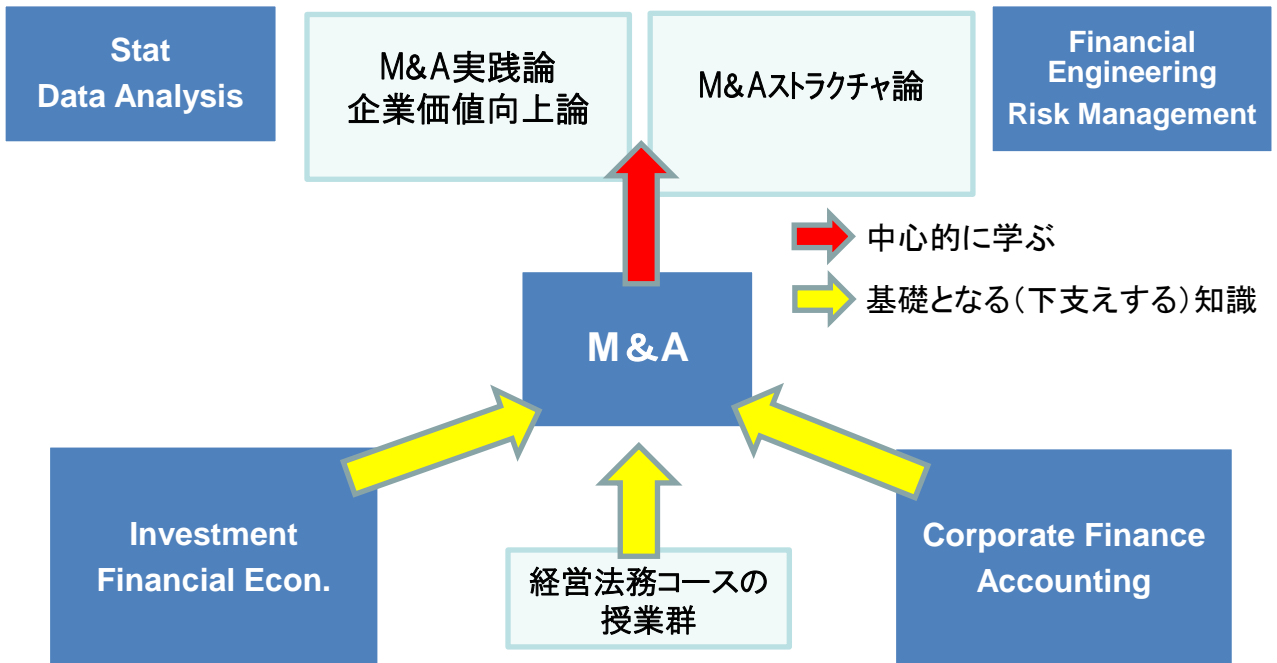
ポートフォリオ運用を中心に勉強したい場合



企業アナリスト・株式ファンドマネージャー(銘柄選択)



M&A戦略、事業再生などを中心に勉強したい場合



■平成26年度専門職学位課程(MBA) 教員紹介

教授	伊藤	彰敏	専任 ★
	大橋	和彦	専任 ★
	佐山	展生	専任 ★
	中村	信弘	専任 ★
	林	文夫	専任 ★
	本多	俊毅	専任 ★
	楠木	建	本研究科国際経営戦略コース所属
	祝迫	得夫	本学経済研究所所属
准教授	中川	秀敏	専任 ★
	野間	幹晴	専任 ★
	横内	大介	専任 ★
	大上	慎吾	本研究科国際経営戦略コース所属
客員教授	土岐	大介	
	服部	暢達	
	藤田	岳彦	
客員准教授	沖本	竜義	
非常勤講師	青木	義充	
	赤石	英司	
	大沼	宏	
	山本	一彦	

※1. ★印は平成26年度の専門職学位課程の演習担当教員を示します。

※2. 上記情報は、平成26年9月1日現在のものとなります。



最寄駅からの交通案内

本研究科へは神保町駅か竹橋駅が最寄駅となります。
 東京メトロ東西線 竹橋駅1B出口より徒歩4分
 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線 神保町駅A9
 出口より徒歩3分

本コースに関するお問合せはics-info@ics.hit-u.ac.jpまでお願いいたします。

2014年9月発行

【発行・製作】

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 金融戦略・経営財務コース

☎101-8439

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

URL: <http://www.fs.ics.hit-u.ac.jp/>